

去る6月9日に、京都で表記の大会が催された。
 近商女性連加盟の54団体から、840人が集まり、交流を深めました。
 1時30分より総会が開かれ、近商女性連会長でもある長谷川妙子会長から「古都で女性会のパワーを輝かせることはこの上ない喜びです。まだ、景気が上昇しているとは思われない状況の中で、各地女性会の熱き思いを持って、交流の輪を広げ、明日への力にして頂きたい」と挨拶がありました。
 次に京都女性会の西尾陽子会長より、歓迎の言葉が述べられました。
 続いて議事があり、終了後、次回開催地である大商女性会の、当日の出席者40人が、前日に練習した「商売繁盛で笹持って来い」の音に合わせて、笹を左右に振りながら、誘致のパフォーマンスを行った。ピッタリ意気が合ったのには、我ながら驚きましたが、大商女性会の団結と行動力を会場一杯に披露することができ、出席者の皆様から大変好評を得ることができました。
 講演会では、立石義雄オムロン会長の「未来から選ばれる企業」と題して、働きがい重視の経営手法についてのお話があり、我々興味深く耳を傾ける事ができました。
 懇親会では、各地の皆様と、和やかに交流を深め、有意義な1日となりました。



船場雑感

(名)花外楼 代表社員 徳光正子

大阪市経済局の中に、100年以上継続している企業を選んだ「大阪のれん100年会」という団体がある。顧問の先生によると、業種業態は様々であるが、継続の条件には共通点があるらしい。企業目的は永続であり、「信用・伝統」を重視していること。企業の原点である人間を重視していること。社会的貢献を心掛けていること。革新的であること。そして一番重要なことが、この革新であり、革新の結果が継続となり暖簾となるのである。
 昔から船場では、奉公、体面、分限という言葉がある。奉公とは社会のルールを守ることであり、体面は信用を傷つけないことであり、分限は身の程をわきまえて思い上がらぬことである。商売の町船場では何よりも信用を重んじ、暖簾は武士にとっての旗指物に匹敵する意味を持った。武士や公家の様な身分の保証のない商人達は、誠実に商いに努め、人格を高め徳を積むことに励んだ。それが信用という大きな財産となった。当り前のことだが、今の時代は意外に難しいらしい。
 当社には「誠実」以外に社是はない。家業中心の会社であるが、過去を振り返ると奉公、体面、分限を大切に、折々に革新にチャレンジも試みてきた様に思う。商売のやり方は変化しても商道というポリシーは、いつの時代も変わらない。ノルマなり会社の業績向上とかの大義名分のため何をやっても許される様な商売は、船場では恥とされたことだろう。
 時代に迎合することなく、しかもチャレンジ精神を失わず商道を守り抜く、きれいごとではなく、現実の問題として真摯に受けとめ社業に従事することの難しさを痛感しつつも、そこにこそ本当の喜びがあり、継続は力なりを実感させられる今日この頃である。

平成18年度の主な事業

平成18年		
9月 5日(火)	委員会編成	大商女性会
10月 6日(金)		
～ 7日(土)	大阪府女性会連合会研修・交流会	府女連事業
10月12日(木)	大阪府女性会連合会北部ブロック研修会	府女連事業
10月30日(月)	第4回原子力勉強会	大商女性会
11月 9日(木)	経営事例発表会	大商女性会
11月21日(火)		
～22日(水)	全国女性会連合会三重全国大会	全女連事業
12月 5日(水)	新入会員との懇談・懇親会	大商女性会
平成19年		
1月16日(火)	平成19年新年互礼会	大商女性会

◆編◆集◆後◆記◆

四季折々の気候が日本経済を様々に起動、発展の道に繋がってまいりました。夏が終り、実りの秋を迎える頃に「NOW」Vol.15をお届け致す為の編集会議が開かれ、「大阪の歴史と人物」の連載が決まりました。
 あきないの都、大阪を愛するわたしたども。“のれん”の奥にはその歴史と秘められた「人間ドラマ」、ひたむきに生きた往時の人々の姿を語り継いでいただく「温故知新」の企画と考えます。市井の片隅にささやかにと生きてきた人の姿はそれぞれに美しい、続いての寄稿を楽しみにして大阪商工会議所女性会誌の発展を広報委員会一同は願っております。

(広報委員会)

※掲載している役職は全て開催当時のものです。

NOW

Vol.15

2006年秋号

大商女性会 編集発行:大阪商工会議所女性会(大阪商工会議所総務広報部内)
 〒540-0029 大阪市中央区本町2-8 TEL.06-6944-6211 FAX.06-6944-6250

食育は女性力から



大阪商工会議所常議員
 天神橋三丁目商店街振興組合
 理事長 土居 年樹

今、食と人との因果関係が社会問題になっている。この食生活で若者が今の日本人の平均寿命まで持ち堪えられるだろうか? マスコミのニュースに毎日のように出てくる「親子の争いによる殺人・子育ての母の虐待・中学生による小学生殺し」これらの要因の一つに食のアンバランスがあるのでは? 等が論議的になっているようだ。

私はこれらの問題を通して今の住空間が原因のように思えてならないのだ。家三題に「家庭・家族・家内」がある。これを現代社会に置き換えると家庭とは「庭のある家」では無く「庭の役割をする家(やすらぎとふれあい)」の事。家族とは例え核家族であっても親子三代がどれだけ交流があるかということ。家内は母親の事では無く、家族がどれだけ我が家を意識しあっているかという事ではないだろうか。私の子供の頃は戦時中、戦後の混乱期、物不足の時代に生きてはいるが、心豊かに育てられたように思えるのだ。母はそれこそ父と共に働きながらも子を育てていったものだ。戦後の初代は、私の親の時代、戦後二代目は我々の時代。そこに高度成長期・経済至上主義・物価の価格破壊が起こった。戦後三代目の女性パワーが本来の人間形成の為に食を含めて新しい社会のうねりを呼び起こしそうな気配を感じてならない。大阪商工会議所女性会のリーダーシップに期待を寄せる事大である。

大商女性会 平成18年度通常総会を開催

6月28日、113名の出席のもと、大商女性会平成18年度通常総会・講演会が開催された。総会議事では、平成17年度事業報告・収支決算(案)、平成18年度事業計画・収支予算(案)の審議と、役員を選任が行われ、下記の通り役員が選任され、7月より新体制がスタートした。また、来る平成20年に迎える、創立50周年の記念事業計画(案)について原案通り承認され、総会終了後は、昼食懇親会で親睦を深め、大商常議員・土居年樹氏より、「街を育てる 人を育てる」と題してご講演いただいた。

平成18年～19年度 大阪商工会議所女性会 名誉会長・役員・顧問・参与名簿

名誉会長	副会長	顧問	参与	監事	常任委員	常任委員
尾崎 公子 (オザックス(株))	長谷川 妙子 (フェザー(株))	上西 美智子 (株アシスト)	荻田 緋佐子 (城東印刷(株))	北本 みず子 (幸福米穀(株))	浅井 幸子 (浅井硝子(株))	土屋 輝余子 (株トーケン)
中田 栄子 (株野田テック)	森下 美恵子 (森下仁丹(株))	野田 祥代 (株野田テック)	山下 英子 (株ロンポアン)	西下 敦子 (三恵商会(株))	浅井 和歌子 (アサイメディックス(株))	寺本 美津子 (テラー寺本)
原 富美子 (株原富美子)	岡 定子 (盛岡眼鏡院)	池田 幸枝 (マロニー(株))	飯田 徳子 (飯田金属工業(株))	中山 登美子 (白水貿易(株))	尼崎 富久恵 (株ラン・コントロール)	富永 道代 (オリムピア製菓(株))
					大山 多嘉子 (オスカーパルプ(株))	西村 洋子 (株ムッシュ)
					開高 光みちる (株エイトオブティク)	新田 久美子 (株ニッタモケイ)
					革嶋 祐理子 (株マルヨシドレス)	能島 玲子 (進栄化学(株))
					木内 達子 (株マルヨシドレス)	橋本 純子 (中央漁具(株))
					木小 珠子 (株豊栄堂)	原田 安子 (原田ビル産商(株))
					小嶋 夕美 (株宣花社)	春里 貫子 (株ソーマ)
					小嶋 富代 (小山鋼材(株))	広井 恵美子 (広和保険(株))
					篠原 レイ子 (株フルビジネスセンター)	藤本 伸子 (株エヌ・ディ・シー)
					田村 真知子 (株大宝)	古山 通代 (株エルプラダジャン)
					田村 由美子 (田村(株))	増村 島 (株リコインダストリーズ)
					田村 恵美子 (ロックベイント(株))	森本 和代 (株森屋)
						八木 洋子 (八木産業(株))
						山崎 比紗子 (株ヒサコネイル)

平成18年7月1日現在 (敬称略)



4年間の副会長職を振り返って

4年間を振り返って感謝

小倉屋(株) 代表取締役副社長 池上淳子



4年間の副会長職を振り返ってみますと、当初の2年は尾崎公子会長の下で組織委員会を担当させて頂き、組織委員長には浅井幸子さんがお引き受け下さいました。

「数は力なり」と分かっているにもかかわらず、不況の中でなかなか増員は難しいことでしたが、浅井幸子委員長はじめ委員会の皆さんで再度10人の組織化グループ活動を提唱して頂き、会員の意識改革と相互理解に努力され、また会員皆さんの協力の下、行事に同伴して頂いた方々に入会のお勧めをして頂き多くの入会者を頂き、ほっとしたしだいです。

後の2年は、長谷川妙子会長の下で総務委員会を担当させて頂き、総務委員長には今田富久恵さんがお引き受け下さいました。今迄と少し違う総務委員会ということで、長谷川会長の掲げられたスローガンの「交流と創造」に値する内容とはと、委員長はじめ委員会の皆さんで色々考え「決算書の易しい見方」、「コミュニケーションの為の心理学」などを学んだり、事例発表会の後の懇親会など開催して頂きました。また私の担当として、全国商工会議所女性会連合会の常任理事をさせて頂いたお陰で、北海道から沖縄まで知人ができました。全国では、その土地柄に添った活動をされていることを知りました。改めて4年間を振り返りますと、私は何をしていたのでしょうかと反省しきりです。なんと大勢の人々に助けられたことと感謝で一杯でございます。大阪商工会議所女性会は、元気で明るい前向きな会員の集まりです。この中で体験させて頂いたことを、これからも大切に活かしたいと思っております。4年間、本当にありがとうございました。

4年間ありがとうございました

マロニー(株) 代表取締役社長 河内幸枝



この度、副会長の任期を終えまして、お礼のご挨拶を申し上げます。

振り返りますと、1991年、尾崎公子会長と内本栄子常任委員のご推薦で、当時は「婦人会」といっていた現在の「女性会」に入会させて頂きましてから、あっという間の15年が経ってしまいました。

一会員としての出席回数年3回からはじまり、友人、お知り合いが増えるに従って徐々に出席することが楽しみとなり、委員会活動を通じて友好を深めることができました。また、事例発表会での感動的なお話からお人柄の素晴らしさを見せていただいた会員の方々がたく

さんいらっしゃいました。

2002年には、副会長という重責にご指名いただき、4年間勤めさせて頂いていただくことができました。皆様のお役に立てたかどうかは自信がありませんが、私自身にとって大変勉強になった4年間であったと思っております。

今後は参与として女性会の発展を応援できればと考えております。

現在、若い企業家の会員も増え、「大阪商工会議所女性会」も時代の要請に応じて変わっていくことと思いますが、ますます発展されますよう祈念し、お礼と感謝の言葉といたします。ありがとうございました。



2年間の委員会活動を振り返って

前総務委員長/株ラン・コントロール 代表取締役 今田富久恵



平成16年度から、総務委員会が会員相互の交流を深める懇親事業を担当することになりました。今期のテーマ「交流と創造」を軸に委員会の皆様と討議の上、企画し下記の様に実施いたしました。

第1回目：決算書の勉強会・講師＝桐元久佳先生、H16/12/16（出席者32名）

主題「決算書のやさしい見方」参加者からは、分かり易く大変参考になったと好評でした。

第2回目：懇親会＝H17/2/9（出席者49名）

経営事例発表会終了後に、新会員歓迎に重点をおいた懇親会を開催いたしました。ピクニック形式で軽食程度のバイキング料理ですが、和やかに会員相互の交流を深めることができました。

第3回目：心理学の勉強会・講師＝深田昭一先生、H17/5/16（出席者31名）

主題「エモーショナルコミュニケーションスキル～よりよく豊かな人間関係を目指して」

第4回目：決算書の勉強会・講師＝桐元久佳先生、H17/12/6（出席者25名）

主題「キャッシュフロー経営と銀行との付き合い方」

以上、4回の総務委員会の懇親事業が実施できましたことは、池上淳子副会長のご指導と総務委員会、女性会の皆様や事務局のご協力のお陰です。総務委員長としてのお役目を無事に果たすことができましたことを、大変感謝しております。恐縮ですがこの紙面をお借りして、お礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

前広報委員長/株森屋 取締役 森本和代



広報委員会として「NOW」を4回発行いたしました。

12号では、巻頭に野村明雄会頭から女性会への力強いお言葉をいただきました。また、尾崎公子名譽会長の「叙勲」というビッグニュースで紙面を飾ることができました。

13号では、「今最も輝く女性、あなたの元気いただきます」というユニークなタイトルで、大先輩の方々の豊かな経験をもとに今も尚、自己への挑戦と研鑽を積むことに意欲的に取り組んでおられる生きざまをお聞きしました。諸先輩方のお言葉は、若い人達に力強いメッセージとなったことでしょう。

14号では新入会員による「今最も輝く女性、あなたの元気いただきます 新入会員編」を特集しました。自社の発展のために取り組んでおられること、女性会への抱負等、積極的なご意見をお聞きすることができました。

NOWは女性会の広報誌として行事、事業報告などを伝える重要な役目を果たしておりますが、15号では、大阪の歴史にかかわる人物、建物などを中心に取材をして、皆様楽しんで読んでいただける紙面も企画いたしました。できれば今後、シリーズで続けていただければ幸いです。

毎号原稿の依頼、編集、校正と事務局はじめ広報委員会の皆様の積極的なご協力のおかげで、無事発刊することができました。快く取材にご協力くださいました方々にも深く感謝しております。

前企画委員長/幸福米穀(株) 常務取締役 北本みず子



委員会の皆様には二年間のご支援、ご協力誠にありがとうございました。

経験の浅い私が大役を仰せつかり、責任の重さに不安を感じておりましたが、河内幸枝副会長の温かいご指導と田村由美子副委員長、大川雅子副委員長はじめ、前向きで情熱的な委員会の皆様にご後押しして頂き、不安はよそに大変充実した楽しい2年間を過ごさせて頂きました。

委員会活動といたしましては、新年互礼会におけるアトラクションの企画、事例発表会、総会の講師選定などに分けられます。新年互礼会では、交流と創造をテーマに会員皆様の親睦を深めて頂きたく、手造りのゲーム大会を2年間行わせて頂きました。童心に返りゲームを楽しんでおられる皆様と、心温まるひとときを過ごさせて頂きました。また、事例発表会講師のご依頼につきましては、お忙しい方々になかば強引にお願いし、ご協力いただいた次第でございます。改めて心よりお詫びとお礼を申し上げます。

協力的な皆様のお陰で、企画委員長としてのお役目を大過なく果たすことができましたこと、心より感謝いたします。皆様から頂きました数々のご芳情は、私に自信を与えて下さいました。この度のお役目で多くのことを学ばせて頂き、新しい自分を見つけられ、心に大きな報酬を頂いた気がいたします。

今後も微力ながら、長谷川妙子会長のご指導のもと、女性会に少しでも貢献できます様日々精進して参りたいと思っております。大商女性会のますますのご発展と、会員皆様のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

前組織委員長/初田防災設備(株) 代表取締役 中前怜子



この度、2年間の組織委員の一人として及ばずながら終わりました。

これも組織委員の皆様は勿論、他の委員会の方々達の絶大なるご協力によりまして、無事多少共、会員増強につながる役割を果たすことができ感謝の気持ちで一杯でございます。

それも最近、個人情報取り扱いの難しさから何らかの名簿には頼れず、手探りで会員の方々の紹介や、また女性会以外の各会社での会合で名刺交換などをされた方を通じて少しずつ増加につながって参りましたが、今回一番の効果は魅力あるキャッチフレーズのチラシを作成して頂きまして、大商ニュースの中に2回ほど挟み込んで頂いた結果、長年大商に入っているが女性会があることをご存知なかった方がおられ、案外多くの入会者を得ることができました。

これは会員増強策の一革命と思っています。しかしその反面、何らかの理由で退会者も増え、その方達をフォローし退会を防ぐことができなかつたのが残念でなりません。しかし時には、年2回程企画委員の方達と合同で夕食を共にして、一人の女性としてお仕事のことは忘れ楽しく賑やかにより多くの出席者の元、会員同士の交流と親睦の場を広げて参りました。これからも、益々会員増強に力を入れなければなりません、やはり実のある人材を集め、会員一人一人が凛としてやる気と会員全体が協力し合って団結していくことが最も大切ではないでしょうか？

来年の近商女性連・大阪大会、再来年の大商女性会50周年記念式典を控え、より多くの会員のパワーを発揮し、より一層心豊かな生き生きとした女性経営者の集まりになることを祈っております。どうも2年間ありがとうございました。